

YMCAは新型コロナウイルス感染症ワクチンを誰もが自由に平等に接種できるようにすることを求めます

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のパンデミックは、世界の何十億人もの人びとの生活を混乱させ、経済・社会活動を大きく阻害しています。すでに1億人以上が感染し、200万人がSARS-CoV-2ウイルスの犠牲になっています。最初のワクチンが規制当局の承認を得た2020年末には、世界中が希望に湧きかえりました。少なくとも一部の国では予防接種が始まっていますが、いざ接種の段階に入り、私たちはグローバル社会として新たな課題に直面しています。

私たちが重要視する課題は次の通りです。

- 高所得国によって承認ワクチンの生産能力の大部分が先に押さえられ、ワクチンの世界的な流通が不平等・不公平なものとなるかなりのリスクがあります。ワクチンの生産能力は依然として低く、少なくとも2021年、2022年と、何十億人もの人びとがワクチンをまったく接種できずに置き去りにされる可能性が高まっています。そして、ワクチン接種が遅れることで、世界中の人びとが、次々に生まれる変異株による感染リスクにさらされる可能性が高まります。
- 誤った情報や似非情報が流されることで、ワクチンや本来信頼が置ける情報源に対する信頼も低下します。こうなると、せっかくワクチン接種が可能になっても、不正確な情報によって多くの人々が接種を拒否したり、迷って遅らせたりしてしまう可能性があります。こうした不確実な情報の流布は、恐怖、不確実性、疑念をまき散らし、そもそもそうした混乱が起きることが意図されている可能性もあります。
- 承認されたワクチンの生産能力と流通の課題は、いずれも接種の遅延につながり、最終的には予防できたはずの数百万人の感染につながる可能性があります。
- 特に低中所得国は、インフラ基盤が脆弱で、ワクチンを届けるのも困難な地域も多く、予防接種センターやワクチン関連情報センターなど、そもそも利用可能な施設が不足しています。

世界の人口の大半がワクチンを記録的な速さで接種することは、これまでに前例のないことであり、大きな課題と障害に満ちた工程となります。しかしこの工程は、規制当局、政府、ワクチン製造者、市民社会組織、個人など、あらゆるレベルが協力して、世界が共に歩んでいかなければならない、歩むべき道程です。

YMCAは、世界120カ国で、6,500万人を超える若者と12,000のコミュニティに奉仕するグローバルな運動主体として、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のワクチン接種は、地球上の接種を望むすべての人びとが接種できる人道的な権利であると強く信じています。

私たちは確信します：

1. 科学的に安全であると認められ、規制機関によって承認された新型コロナウイルス感染症（COVID-19）ワクチンは、世界中のすべての人びとにとって無料で、接種を望むのであれば平等に接種されるものでなければならない。
2. 高所得の国々、そしてワクチン生産者は、世界保健機関（WHO）と協力して、WHOが主導するCOVAXプログラムなどを通じて、低中所得国がワクチンにアクセスできるよう取り組むべきである。
3. 医療従事者やエッセンシャルワーカーを含む医療的弱者が優先的にワクチンにアクセスできるようにすべきであり、それが適切に行われるように各国政府が対策を講じるべきである。
4. すべての人びとが、操作された、あるいは虚偽の情報に惑わされることなく、そして不安を煽られることなく、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）ワクチンに関する正確な情報を得る権利を持つべきである。

上記の実現に向けて、世界YMCA同盟は、次の通りの即時あるいは長期的な行動を起こしていきます：

1. 予防接種を支援し、提唱するための、最も適切でエビデンスに基づいた解決策を特定することを目的に、YMCA COVID-19予防接種戦略を策定する。
2. 世界各地のYMCA同盟と連携し、地域において予防接種をサポートするYMCA組織を支援するため、詳細な内部ガイドラインを作成する。
3. 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）ワクチン接種の取り組みに関連した、国際的な市民社会の保護活動を支援する。
4. 世界各地の予防接種運動を取り巻くYMCAの取り組みと連携・推進を図る。
5. 可能な限り、YMCAの施設を予防接種センター、あるいはワクチン関連情報センターとして世界中のコミュニティに提供することを奨励する。

すでにくつつかのYMCAはグローバルで、当該国の予防接種キャンペーンにおいて重要な支援を行っていますが、他のYMCAも支援の準備を進めています。世界YMCA同盟は、これらの取り組みを、年間を通してソーシャルメディアやオンラインチャンネルで紹介していきます。

私たちが望む形でパンデミックの終焉に向かって進む中、世界には多くの困難な選択と課題が待ち受けています。これらの選択は、少数ではなく、多くの人びとの利益になるように、人びとへの恩恵を念頭に置いて行われなければなりません。ワクチンがパンデミックから抜け出すためのチケットであるなら、ワクチンを接種する権利は全人類の人権であるべきです。